

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	おおきな木		
○保護者評価実施期間	令和7年3月1日 ～ 令和7年3月22日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3 (回答者数)	2
○従業者評価実施期間	令和7年3月1日 ～ 令和7年3月22日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年4月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎日のプログラム	カレンダー形式で、毎日違うプログラムを行っています。 スポーツ、さをり織り、おやつ、SST、外出など	マンネリしないように内容の変更を図る。
2	外出行事	毎月、もしくは2ヶ月に1回の農業体験や、月1回外出行事を設けて、外出の機会を作っています。外出先でのルールなども学んでもらえるように行っています。	外出先は毎月変更し、色々な場所に行く機会を設ける。
3	異年齢による活動	小学生・中学生が多く、一緒にプログラムに参加することで、譲り合いなどSSTが自然と身に付く環境を作る。	マンネリしないように内容の変更を図る。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会	日程の調整などなかなか交流の機会を図ることが難しい。	まずはグループ内の事業所と合同での催しを開催してみる。
2	事故対応や緊急時の対応マニュアルはあり、避難訓練も行っているが、実際に緊急事態が起こった際によりスムーズに対応できるように、全スタッフに周知と訓練を行っていくことが必要	スタッフの入れ替えもあり、周知が必要。	分かりやすい形に出来るのであれば、マニュアルの見直し。
3			